

歩行記録自己申告マニュアル

日本ボーイスカウト東京連盟
第 54 回ローバースカウト 100 キロハイク実行委員会
2021/10/25

本マニュアルでは、TATTA での記録に失敗した歩行記録を自己申告(手入力)する方法について説明します。

※はじめに…

今年の 100km ハイクは例年とルールが異なり、TATTA というアプリで歩行記録を取り、その結果をエントリーシステムにアップロードすることで、ハイクの歩行記録を認めます。しかし、万が一 TATTA での歩行記録が正しく取得できなかった場合は、下記マニュアルの通りにエントリーシステムで歩行記録の手入力が可能です。

TATTA での歩行記録が正しく取得できなかった場合とは：

- ・ハイクで歩行した距離と時間が、実際の歩行状況と TATTA の記録で差がある場合
- ・TATTA での歩行記録を失念し、TATTA での歩行記録ができなかった場合
- ・歩行中に TATTA アプリが強制終了し、TATTA での歩行記録ができなかった場合

(1) 歩行記録手入力方法

1. エントリーシステムにサインインする

手入力は、100km ハイクエントリーシステムより行います。

リンク：<https://register.rs100.info/>

※下記 QR コードを読み取ることでアクセス可能。



2. 結果手入力画面にアクセスする

エントリーシステム TOP 画面”各種申請書”の中にある、”結果手入力”ボタンをタッチし、結果登録画面を表示します。

そして、新規登録をタッチし結果手入力画面を表示します。



3. 歩行記録を手入力する

結果手入力画面で歩行記録を手入力します。

登録項目:歩行日 1 日目/2 日目、距離、時間

入力が完了したら、保存ボタンを押して手入力を保存してください。

☰

結果を手入力

このフォームで登録された歩行データは表彰対象から除外されます

X日目:
第1日目

距離の入力方法

- 34.8km : 34.8 と入力
- 12km : 12 と入力

距離:
34

時間:
時間の入力方法

- 10時間42分の場合 : 10:42 と入力
- 0時間59分の場合 : 0:59 と入力

12:00

保存する キャンセル

保存された記録は、結果登録画面に表示されます。

ペンのアイコンのボタンを押すことで記録の訂正、

ゴミ箱ボタンを押すことで記録の削除が可能です。

☰

結果登録

新規登録

このフォームで登録された歩行データは
表彰対象から除外されます

歩行結果を登録しました

日目	距離	時間	操作
1	34	12:00:00	 

(2) 歩行記録手入力ルール

- 手入力した歩行記録は参加者個人の歩行記録に加算されますが、表彰対象とはなりません。
例：Aさんは50kmを参加者の中で1番目に速く歩いた。
しかしTATTAの記録に失敗し、歩行記録を手入力した。
Bさんは50kmを参加者の中で2番目に速く歩いた。
TATTAの記録に成功し、TATTAの歩行記録をアップロードした。
⇒50km最速歩行の表彰対象はBさん
- 歩行記録の手入力を使用した参加者であっても、TATTAの記録に成功した記録は表彰対象です。
例：Cさんは50kmを参加者の中で1番目に速く歩いた。
TATTAの記録に成功し、TATTAの歩行記録をアップロードした。
50km以降の歩行記録はTATTAの記録に失敗し、歩行記録を手入力した。
Dさんは50kmを参加者の中で2番目に速く歩いた。
TATTAの記録に成功し、TATTAの歩行記録をアップロードした。
⇒50km最速歩行の表彰対象はCさん
- 手入力は、2日目の19時まで可能です。
- 手入力回数には制限はありません。
- 嘘の歩行記録を入力するというような、不正行為は“絶対に”しないでください。



上記のルールに違反した場合、記録が**無効**となる可能性があります！

(3) TATTA での歩行記録失敗にならないために…

TATTA での歩行記録に失敗する原因は以下の原因が主に考えられます。

予め対策をお願いします。

- ・ 端末の電池切れ

TATTA はバッテリーの消費が激しいため、モバイルバッテリーを用意してください。
実行委員会の調査結果では、ハイク 2 日間それぞれで、最低でも端末を 1 回フル充電できるモバイルバッテリーが必要です。

- ・ TATTA の計測がうまくいかない

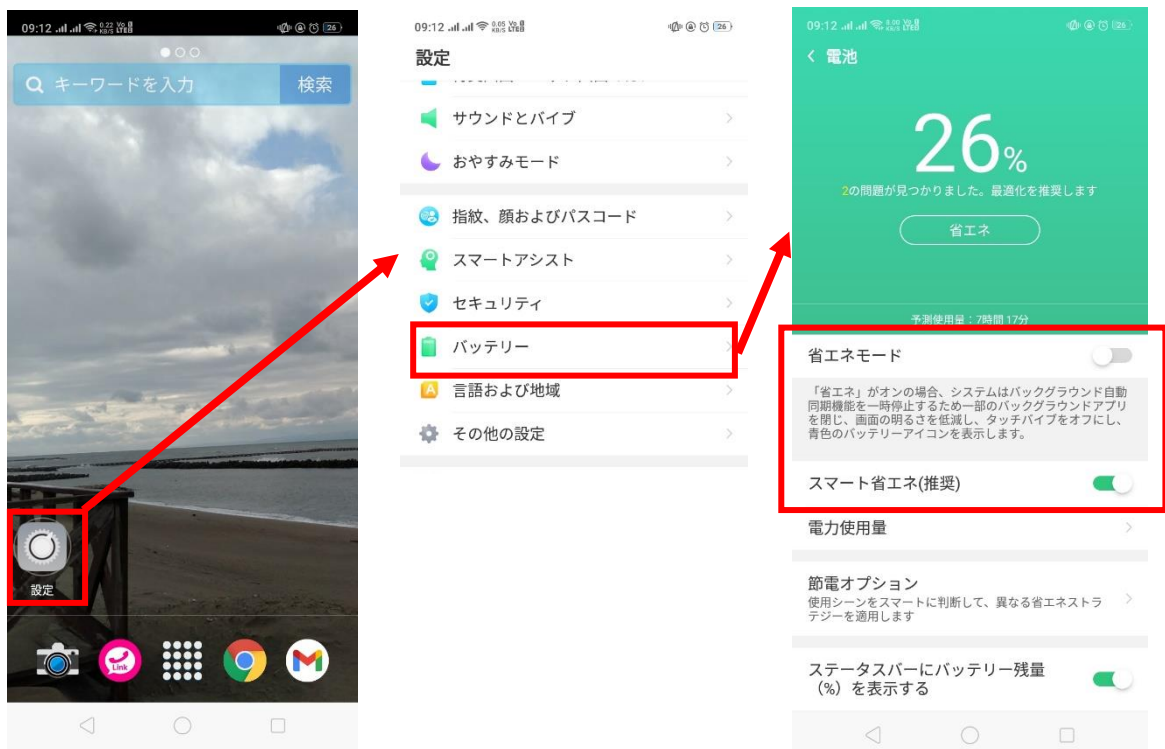
端末の状態・設定によっては、TATTA での計測がうまくいかない場合があります。下記公式 FAQ を確認して、対策をお願いします。

「計測について - TATTA - RUNNET」: <https://tatta.runnet.jp/help/faq>

また、事前に TATTA を端末で動かし、計測がうまくできることを確認してください。

特に Android 端末の場合は、電池設定の省電力モード、バッテリーセーバー、バックグラウンドでの使用の制限を ON にしていると TATTA の強制終了が高頻度で発生します。各モードの具体的な名称は端末により異なります。参加者自身で、名称・設定方法をご確認ください。

例 OPPO AX7 の場合の省電力モード、バッテリーセーバー機能:



- ・ TATTAを誤って終了する

ハイク中に TATTA 以外のアプリを終了する際、誤って TATTA を終了しないようご注意ください。